

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2006. 7. 17

人・街・ながた震災資料室

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

案内役は車寅次郎

「寅さん長田に帰る—阪神淡路大震災の記録展」の第一部は県立文化体育館（9月30日～10月2日）、第2部は長田区役所7階区民ギャラリー（10月3日～10月10日）で開かれる。第一部はバスケットボール競技の会場でもあり、県立文化体育館と国体事務局との調整も大詰めをむかえている。

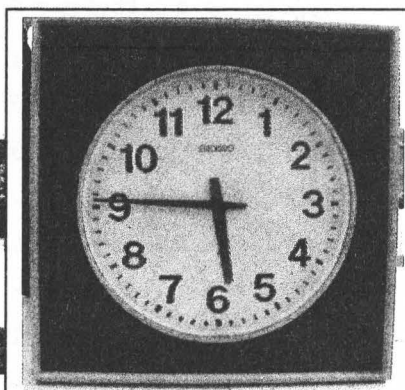
寅さんゆかりの地

車寅次郎を演じた渥美清さんが亡くなって8月4日で丁度10年になる。

あの震災の年、焼け跡の菅原市場のロケでは渥美さんは既に病魔に侵されていて、リハーサルの時は椅子に腰掛けていた状態だった。松竹の大西さんは渥美さんに出来るだけ負担が掛からないように気配りする役だった。山田洋次監督は寅さんの素敵さは「ちいさい時に育ての母親がちゃんと愛情を注いでくれた」ことから生まれたと言う。

今回の展示は、会場入り口で寅さん（実物大）が全国の皆さんを迎える役割である。

この企画には映画で「いしくらベーカリー」（現・くららベーカリー）の石倉さんや、招致副委員長だった三浦清三さんの協力を頂いている。



夜間中学校の大時計

—— 民主教育の歴史を刻む ——

当資料室には5時46分を指した直径80センチの大時計が保存されている。長田区三番町にあった西野夜間中学（丸山中学校西野分校）の木造校舎の壁に付けられ、長年生徒たちを見守ってきた時計だ。

西野分校は、明治37年に地元の協力で建てられた木造2階建ての校舎だったが、大震災で「立ち入り禁止」になり解体撤去された。この間、授業はテントで行ったり、近くの水木小学校を借りたりしてきた。

神戸の夜間中学の歴史は、日本の義務教育のリーダー的存在だった。当時の先生方に聞くと「義務教育となった昭和22年は敗戦の混乱期で、子供らは子守や親の仕事の手伝いで昼間は学校へ来れない子が多かった」ところが文部省は夜間中学を認めなかったので「熱意のある先生方による自主運営で夕間（夕方）学級としてスタートし、生徒は大阪・尼崎・姫路・加古川からも通ってきた」。

その後「パンとミルク」の支給などを制度化させてきたのだった。

のじぎく兵庫国体
2006 in KOBE
開催期間

平成18年9月30日（土）
～10月10日（火）



あつみ きよし

渥美 清 (本名・田所康雄) さんプロフィール

昭和57年 第1回都民文化荣誉章

昭和63年 紫綬褒章

平成 8年 国民荣誉賞

昭和3年3月10日、東京市下谷区車坂町(現・上野7丁目)生まれ。父・田所友次郎は元・地方新聞の政治記者。母・タツは元・代用教員。6歳上の兄がいたが25歳で亡くなった。板橋小学校から都立巣鴨中学に進み、昭和20年に卒業。

翌21年に友人の父の新派軽演劇の座長の誘いでその一座に入り、『阿部定一代記』という芝居で初舞台を踏んだ。その後、さまざまな劇団を渡り歩き、昭和26年6月、浅草六区の百万ドル劇場の専属コメディアンになる。翌27年、同劇場が倒産し、川崎セントラルに移るが、28年再び浅草に戻り、フランス座に入る。コメディアン仲間に谷幹一、関敬六、八波むと志、佐山俊二、南利明がおり、裏方に井上ひさしがいた。戦後浅草軽演劇の黄金時代で、ここで大いにアドリブの才を磨いた。

しかし、29年肺結核で倒れ、療養生活を過ごす。31年にフランス座に復帰、コメディアンとして人気ますます高まり、テレビに迎えられ、34年日本テレビ『すいれん夫人とバラ娘』の三枚目役でデビュー。36年、同時にスタートしたNHKの青春コメディ番組『若い季節』とバラエティー・ショー『夢であいましょう』のレギュラーとなり、とくに後者では人気を博した。やがて37年のフジテレビ『大番』の主役で大当たりし、スターダムに入る。この主人公は、田舎者で図々しくて物凄いバイタリティーで人をかき分けて出世するが、愛嬌があって憎めないという人物である。こういう人物を演じると精彩を放つことが知られ、翌38年、松竹の野村芳太郎監督作品『拝啓天皇陛下様』に主演、愛すべき無知な最底辺の庶民を生き生きと演じたことによって、映画の主演俳優としての地位を確立した。

そして、昭和43年、山田洋次の脚本でフジテレビの連続ドラマ『男はつらいよ』に主演する。これは渥美清の少年時代に見てきたテキ屋たちの思い出を語ったところから山田洋次がイメージをふくらませたもので、好視聴率を獲得した。翌44年、山田洋次の監督で映画化され、回を重ねるごとに、“寅さん”のキャラクターが日本中に浸透、渥美清＝寅さんとして知らぬ人はいないまでになっていく。平成8年の正月作品『男はつらいよ・寅次郎紅の花』まで26年間、48本が作り続けられ、そのすべてに主演した渥美清は、ギネスブックにも認定されるまでになっているほか、全作品が大ヒットという、日本はおろか世界でも類を見ない超人気映画シリーズとなった。

平成8年8月4日、68歳で逝去。

《松竹(株) 大西洋さん 提供》

◆平成18年度 震災資料室運営協議会を開催

6月9日に長田区役所で人・街・長田震災資料室の運営協議会が開かれ、のじぎく兵庫国体への参加や、「震災の語り部」活動などについて話し合いがありました。基本的な資料室構成員は以下のとおりです。

清水誠一、寿広文、清水益幸、森和平、
飯塚武嗣、近藤将晴、安藤崇、河野史人、
小林力、小寺忠則、田村彰浩、武川泰恵、
藤原美紀、堀誠澄、山口藍(順不同)

交流 見学に来られました

奈良県宇陀郡御杖村の皆さん

震災資料や寅さんに関する資料を集めています。ご協力をおねがいます。

【お願い】寅さん関係は、第48作に関するものに限らせていただきます。保存し、公開させていただくことがあります。